

## No.2 新宮 晋 「訪問者」

Susumu Singu

北川フラムさんのコラム / 1996 (平成8) 年 7月15日付 立川市市報記事より

新宮 晋は見えないものに形を与えている。

この換気口の上に作られた「訪問者」という作品は、風が吹くとゆっくり複雑な動きをする。彫刻の動きが、実は風が動いていることを知らせているのだ。

新宮 晋は光や風といった、見えないが、しかし大切なものを私たちに伝えてくれる、いわば自然の伝道者のような作家だといえるだろう。

例えば、瀬戸内海には海の中に氏の作品があって、それは、海の波や光の輝き、風の流れと共に動いている。自然との交歓は私たち人類の最も基本的な、それでいて一番嬉しいことだった。

7月20日は海の日だ。立川のなかにおいて海の響きを感じることができるだろうか。